

## 2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022年 3月 11日
研究・研修課題名	検診マンモグラフィ認定更新講習会の受験
研究・研修組織名(所属)	放射線部
研究・研修責任者名(所属)	小玉 紗弥香
研究・研修実施者名(所属)	小玉 紗弥香

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果( )
該当者名(所属)	小玉 紗弥香
学会名(会期・場所)、認定名等	第 173 回マンモグラフィ更新講習会(京都)
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	2021 年 7 月 10 日
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有( ) <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

**目的及び方法、成果の内容****①目的**

検診マンモグラフィ認定を更新する

乳がんは日本女性の悪性腫瘍罹患率第 1 位であるが、早期発見・早期治療により予後のよい疾患である。

しかし、初期段階では症状がなく罹患者が自覚した際には進行している場合が多く、40 代以上では罹患率が上昇する。その為、乳がんを初期段階で見つけるため一定年齢以上の女性は定期的な検診が重要となる。

現在日本の乳がん検診はマンモグラフィを用いている。

質の良いマンモグラフィの撮影が必要となり、撮影技術の向上はもちろんのこと装置や画質の管理も重要となる。そこでマンモグラフィの技術、知識向上・維持のため NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構がおこなっているマンモグラフィ認定技師試験を受験し資格更新を目的とする。

**②方法**

2021 年 7 月 10 日京都市の三笑堂で行われた NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構が行う、撮影技師更新講習会を受講し検診マンモグラフィ技術認定の更新試験を受験する。

**③成果**

認定更新の期限は 5 年であったが、コロナ蔓延のため延期され今回は前回受験時より 7 年目の受験となった、講義の内容はここ近年の検診事情やマンモグラフィの品質管理等の変更された部分を学んだ。マンモグラフィを撮影する技師の質が重要であることを再度認識した。また、デジタル技術の向上により読影をモニターで行うようになった。それに伴い、品質管理も様変わりした。デジタル画像は、各種パラメータ、表示画像系など、いくつもの条件によって画質が決定される。その使い方や各種パラメータ、画像表示系によって、思いがけない画質になる可能性があるため品質管理をきちんとおこなう重要性を学んだ。その後、今回の目的となる筆記と読影の試験を行い、試験終了後に受験者の撮影したマンモグラフィを参照しながら各施設の臨床画像評価をおこい、各施設より持ち寄られた写真

(様式1)

を見ることで、自分の撮影に足りないところ、他施設が行っていることなど普段得られない情報を得ることができた。試験を終え、A 認定のまま更新することが出来た。マンモグラフィ検診認定技師としての自覚を持ち、品質管理を定期的におこい、技術・知識ともによりいっそう向上し後輩育成に努め、より良いマンモグラフィを提供することで地域社会の乳がん死亡者数の低下のため寄与できるように努力していきたい。